

第6回先端膜工学研究推進機構特定テーマフォーラム

～ 脱石油化学産業を加速する膜分離技術 ～

開 催 案 内

一般社団法人 先端膜工学研究推進機構

平素より当会の活動に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

当機構では、2020 年度より膜関連技術に焦点を当てた「特定テーマフォーラム」を毎年開催しており、基礎研究から技術開発、市場動向など、幅広い視点から議論を深めてまいりました。

第6回目となる本フォーラムでは、「脱石油化学産業を加速する膜分離技術」をテーマに掲げ、持続可能な社会の実現に向けた新たなモノづくりにおける膜分離技術の可能性について考察いたします。

近年、サーキュラーエコノミーやカーボンニュートラルの実現が強く求められる中、従来の石油資源に依存した化学産業は大きな転換期を迎えています。特に、プラスチックや有機合成品などの化学製品の製造においては、バイオマスやCO₂などの再生可能資源を原料とする新たな技術の導入が急務となっております。これらの課題に対し、膜分離技術が大きく貢献できることが期待されています。

本フォーラムでは、産学の第一線で活躍されている4名の講師をお迎えし、促進輸送膜、正浸透膜、膜抽出、UF膜、NF膜、RO膜、ゼオライト膜など、様々な膜分離技術についてご講演いただきます。さらに、これらの技術の普及に向けた現状の課題、今後取り組むべき検討事項について、パネルディスカッション形式で議論を深めてまいります。

なお、本フォーラムは対面形式にて開催予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日 時：令和8年 1 月 23 日(金) 13:30～17:20

場 所：瀧川記念学術交流会館 大会議室

(司会進行：中塚修志 先端膜工学研究センター 客員教授)

プログラム：

- 13:30-13:35 「開会挨拶」 先端膜工学研究推進機構長 松山秀人
- 13:35-13:40 「本日のテーマの趣旨説明」 先端膜工学研究センター 中塚修志
- 13:40-14:20 「促進輸送膜によるCO₂分離とバイオマスプラスチック創製」
京都工芸繊維大学 繊維学系 教授 谷口育雄 氏
- 14:20-15:00 「バイオ由来化合物の生産性向上を目指した膜分離技術の開発」
神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科 准教授 中川敬三 氏
- 15:00-15:20 (休憩・時間調整)
- 15:20-16:00 「タイ国非可食バイオマス資源と分離膜を用いた非可食糖製造プロセス」
東レ株式会社 先端融合研究所 研究主幹 栗原宏征 氏
- 16:00-16:40 「カーボンニュートラル用材料としてのゼオライト」
三菱ケミカル株式会社 フェロー 武脇隆彦 氏
- 16:40-17:20 総合討論 モデレーター 先端膜工学研究センター 中塚修志
- *各ご講演は質疑応答込みで40分を予定しています。

問合せ先

e-mail: eng-membrane@research.kobe-u.ac.jp

電話：078-871-6954 先端膜工学研究推進機構 (進藤)

以上